

# 和語起源の動詞と競合する 尊敬語構文

ジョージタウン大学[院]／駿河台大学

山田彬堯

# 1 イントロダクション

- 競合する尊敬語構文 (菊地 1997; Yamada to appear)

- (1) a. A先生は Bさんに 相談**された**。  
b. A先生は Bさんに 相談**なされた**。  
c. A先生は Bさんに **ご**相談**なされた**。  
d. A先生は Bさんに **ご**相談**になった**。

- (2) a. A先生は Bさんに 話**された**。  
b. ? A先生は Bさんに 話し**なされた**。  
c. A先生は Bさんに **お**話し**なされた**。  
d. A先生は Bさんに **ご**話し**になった**。

A talked to B  
+ the speaker respects A

# 1 イントロダクション

- 先行研究 1

西洋起源の理論言語学：

「性数の一致を持たない」言語における「一致現象」

Niinuma 2003; Boeckx and Niinuma 2004; Kishimoto 2010; Thompson 2011

実際に尊敬語表現が一致として扱われるべきかどうかはさておき、これらの立場は専ら(1)d/(2)dに示された「御…になる」にのみ焦点を当ててきたため、異なる尊敬語表現にどのような競合関係が存在するのかという点については（目下）詳しく分析されていない。

# 1 イントロダクション

## • 先行研究 2

国語学の系譜：重厚な記述研究（通時・共時）

三橋 (1982); 松下 (1924); 山田 (1924); 辻村 (1963); 渡辺 (1971); 林・南（編）  
(1973-1874) ; 菊地 (1997)

例えば、aの「ラレ尊敬」は、やや敬意の度合いが落ちる傾向があること、bの「…なさる尊敬」は、和語起源の動詞で容認度が下がることなどが一般的な傾向として指摘されている

# 1 インTRODクシヨN

## リサーチクエスチヨN

- ・「立派になりなされたけど (BCCWJ) 」
- ・「洪水という罰を与えなされたのですか？」  
(インターネット)

のように和語動詞が「…なされる」を取る事例も見受けられる。

## 本発表の目的

統計モデリングという定量的な視点を組み入れながら「御…になる」と比較した際の「…なされる」の特殊性を調査し、競合する尊敬語構文研究の一側面を議論することが本稿の目的である。

## 1 インTRODクシヨN

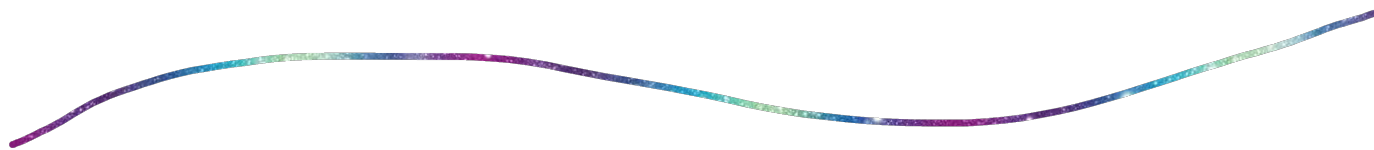
・競合する尊敬語構文 (菊地 1997; Yamada to appear)

- (1) a. A先生は Bさんに 相談された。  
b. A先生は Bさんに 相談なされた。  
c. A先生は Bさんに ご相談なされた。  
d. A先生は Bさんに ご相談になった。

- (2) a. A先生は Bさんに 話された。  
b. ?A先生は Bさんに 話しなされた。  
c. A先生は Bさんに お話しなされた。  
d. A先生は Bさんに ご話しになった。

A talked to B  
+ the speaker respects A

## 2 データと記述統計



## 2 データと記述統計的解釈

### 使用したデータ

国立国語研究所「日本語書き言葉均衡コーパス」

- 「中納言」を利用し下記の検索式によって得られる計14,062例を取得。
- 「ラレ構文」は、受け身をはじめとするその他の意味機能との区別が困難なので除外。
- 今回の推測統計の中心的な考察対象ではないが、「お…になる」の分布についても、記述統計においては考察。

## 2 データと記述統計的解釈

### 使用したデータ

国立国語研究所「日本語書き言葉均衡コーパス」

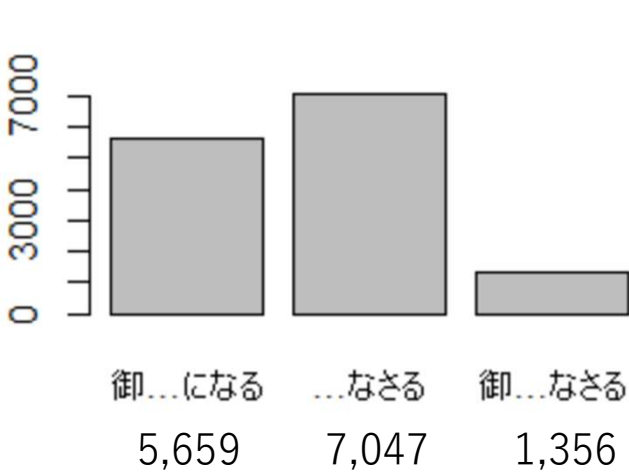
- (3) a. キー: 品詞 LIKE ” 名詞-普通名詞-サ変可能 %” AND 前方共起: 語彙素=” 御” ON 1 WORDS FROM キー AND 後方共起: 語彙素=” に” ON 1 WORDS FROM キー AND 後方共起: 語彙素=” 成る” ON 2 WORDS FROM キー 2,036 件
- b. キー: (品詞 LIKE ” 動詞 %” AND 活用形 LIKE ” 連用形 %”) AND 前方共起: 語彙素=” 御” ON 1 WORDS FROM キー AND 後方共起: 語彙素=” に” ON 1 WORDS FROM キー AND 後方共起: 語彙素=” 成る” ON 2 WORDS FROM キー 3,623 件
- (4) a. キー: 品詞 LIKE ” 名詞-普通名詞-サ変可能 %” AND 後方共起: 語彙素=” 為さる” ON 1 WORDS FROM キー 1,109 件
- b. キー: (品詞 LIKE ” 動詞 %” AND 活用形 LIKE ” 連用形 %”) AND 後方共起: 語彙素=” 為さる” ON 1 WORDS FROM キー 7,294 件



# 2 データと記述統計的解釈

疑問：本当に和語起源は「なさる」が嫌い？

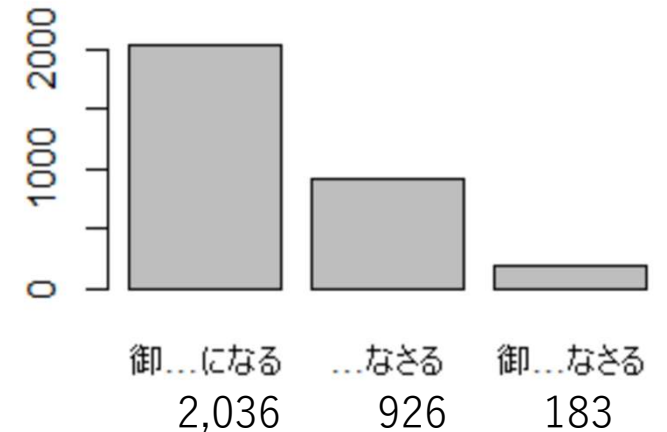
## 全体の使用傾向



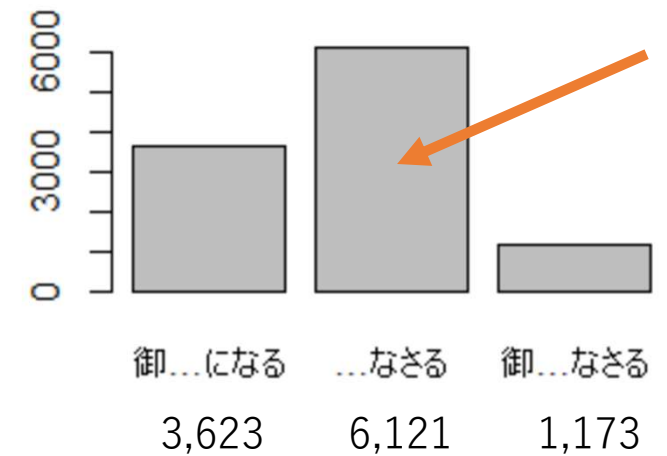
- (1) a. A先生は Bさんに 相談**された**。  
 b. A先生は Bさんに 相談**なさった**。  
 c. A先生は Bさんに **ご**相談**なさった**。  
 d. A先生は Bさんに **ご**相談**になった**。

- (2) a. A先生は Bさんに 話**された**。  
 b. ?A先生は Bさんに 話し**なさった**。  
 c. A先生は Bさんに **お**話し**なさった**。  
 d. A先生は Bさんに **ご**話し**になった**。

## 漢語起源の動詞

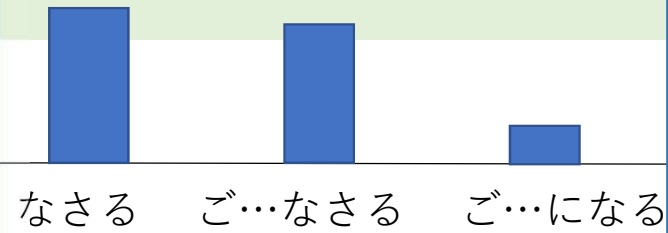


## 和語起源の動詞



# 2 データと記述統計的解釈

相談する

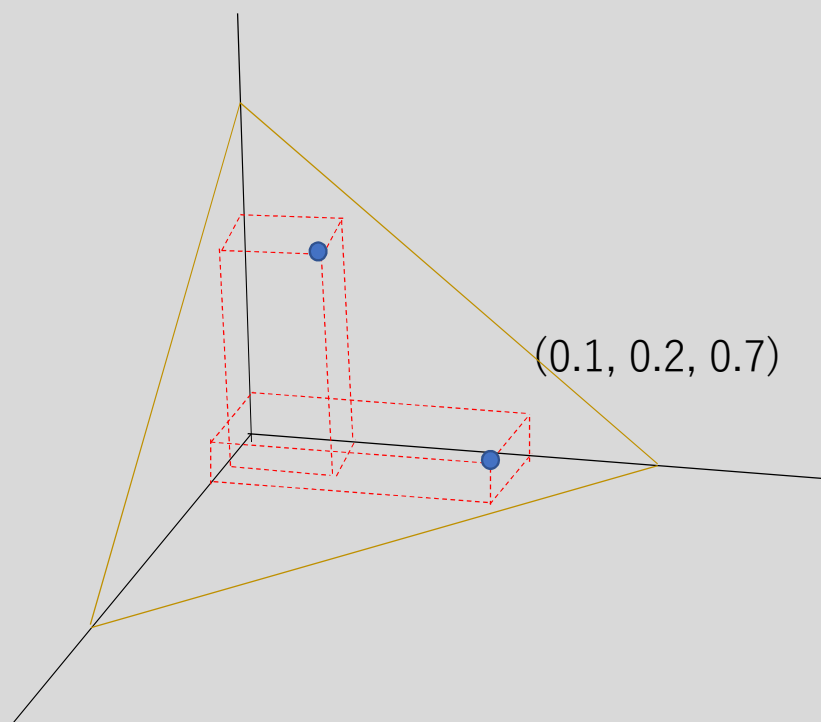


疑問：本当に和語起源は「なさる」が嫌い？

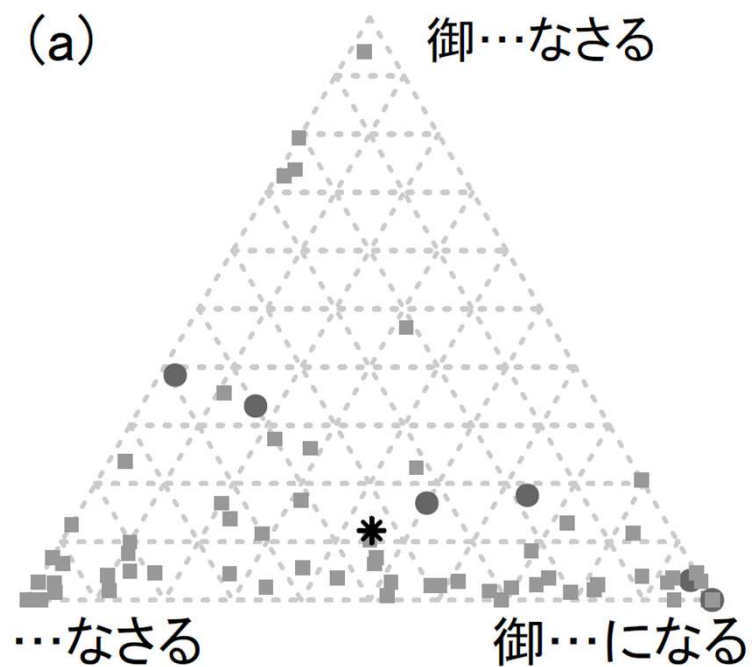
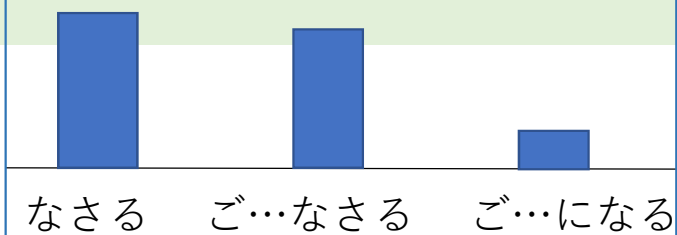
サンプル ID	開始位置	連番	前文脈	キー	後文脈	語彙素読み	語彙素	語彙素細分類	品詞	活用型	活用形	レジスター	執筆者	書名/出典	編著者等	出版者
LBp9_00130	17660	11530	の 面会 を 要求 した の は 自分 です 。#  — あなた 方 は 、 どうも 何 か	誤解	(なさっ) ている ような の で 、 お互い に 少し 話し合う 必要 がある の で は ない	ゴカイ	誤解		名詞-普通名詞-サ変可能			図書館・書籍	火浦功(著)	大豪快。	火浦功 著	角川書店
PB17_00028	24710	13740	方 は 、 相手の コーディネーター が どの ような 仕事 を して きている の か 、	確認	(なさっ) た 方 が 良い と 思われ ます 。# Q:  色 の 仕事 に は 何 が ある	カクニン	確認		名詞-普通名詞-サ変可能			出版・書籍	三木ゆか(著)	トウル一・カラー	三木ゆか 著	文芸社
LBm9_00123	12520	8170	さま を お 訪ね に なりました 。# 救 援 を 乞い	約束	(なさっ) た そう です 。# 名 だ たる 部 将 の 居 並 ぶ 大 坂 城 で の 会 見 で は 、 多 分 、 日 の 出	ヤクソク	約束		名詞-普通名詞-サ変			図書館・書籍	赤瀬川隼(著)	天紙風筆	赤瀬川隼 著	新人物往来社

## 2 データと記述統計的解釈

### 確率単体における位置

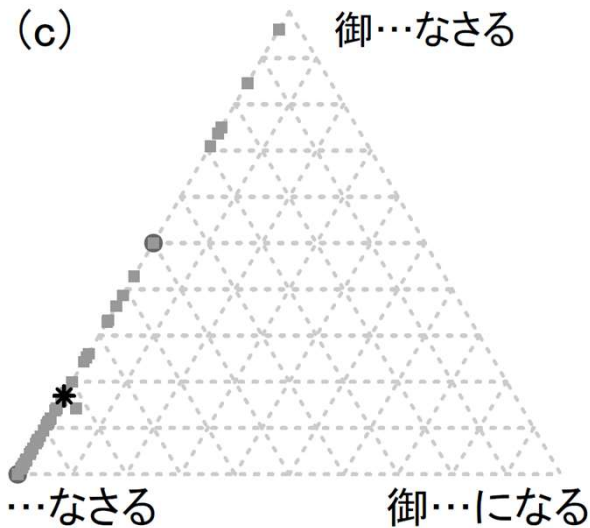
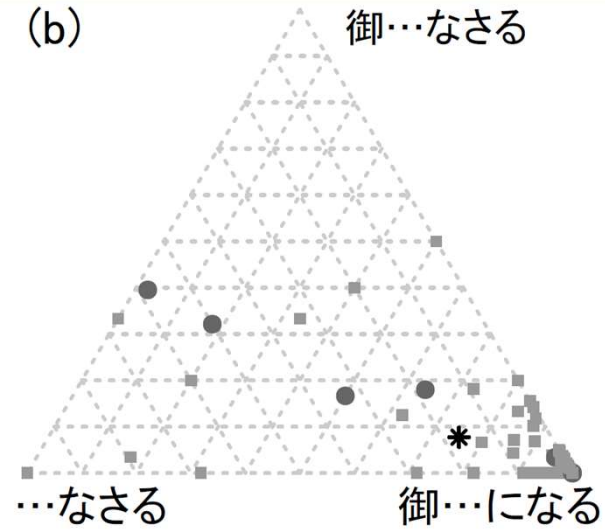
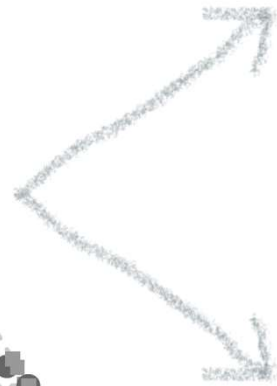
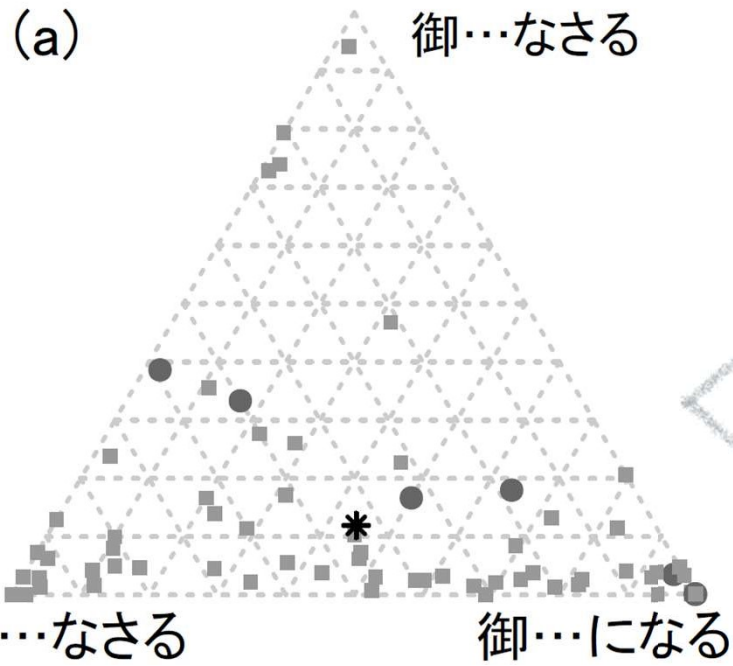


### 相談する



# 2 データと記述統計的解釈

## 条件付き分布



非命令文

命令文

## 2 データと記述統計的解釈

### Take-home message

1. 正しく要因をコントロールしなければ誤った結論に至ってしまう。

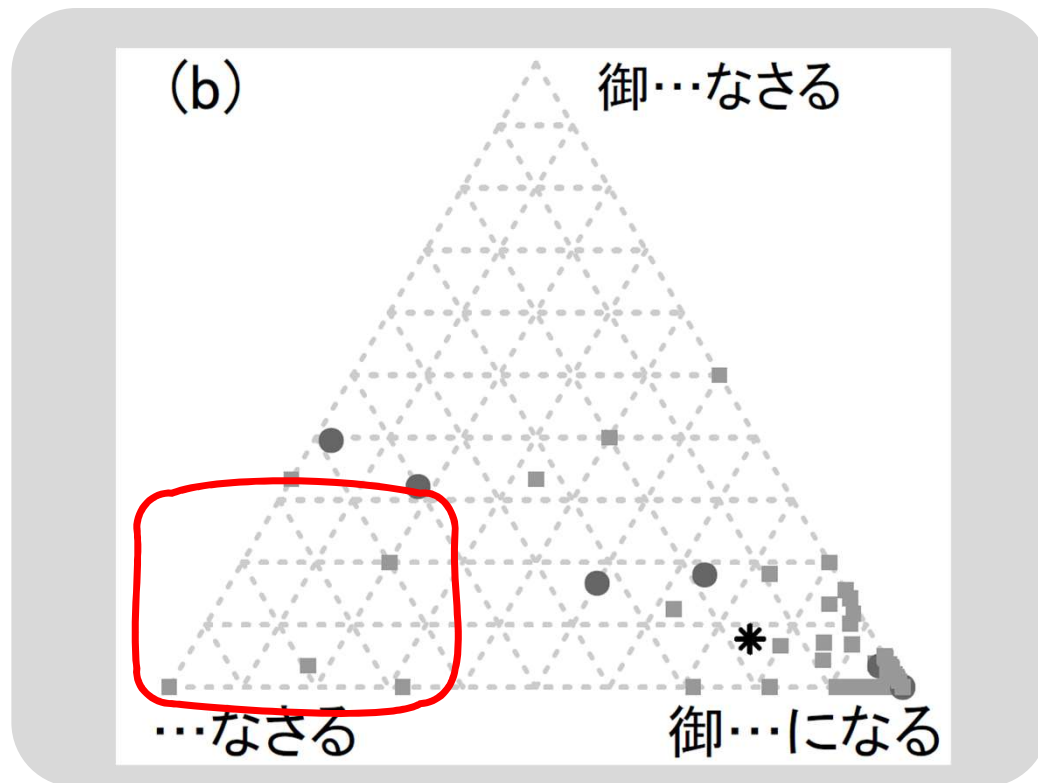
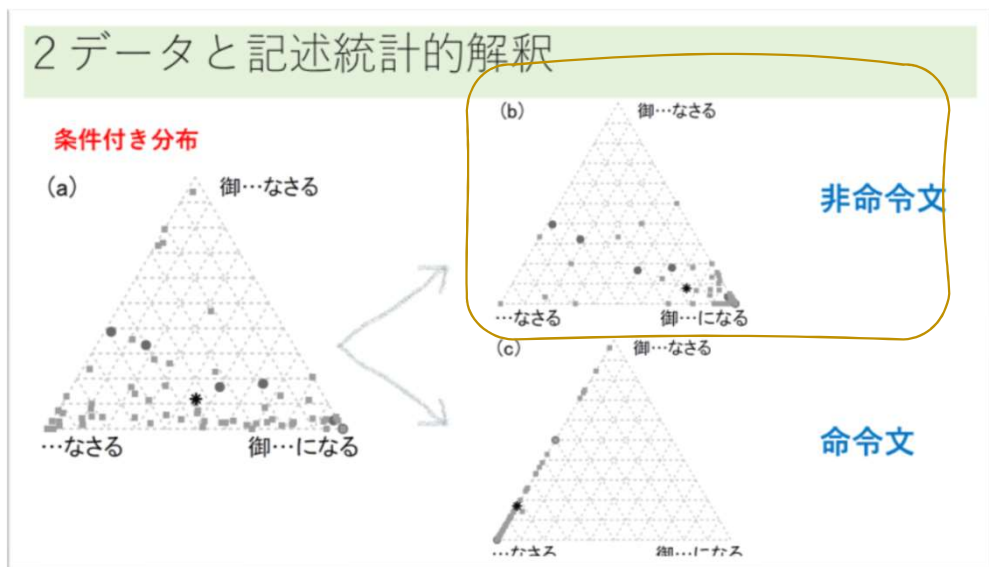
他にどのような要因が考えられるか？

# 2 データと記述統計的解釈

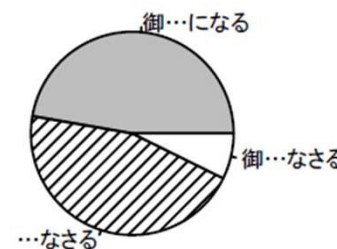
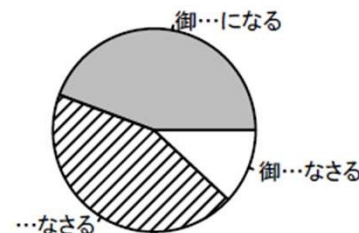
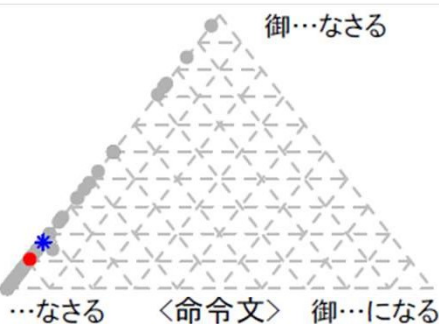
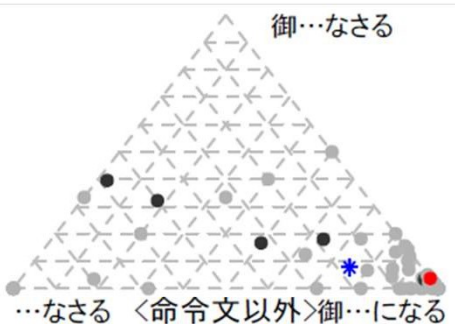
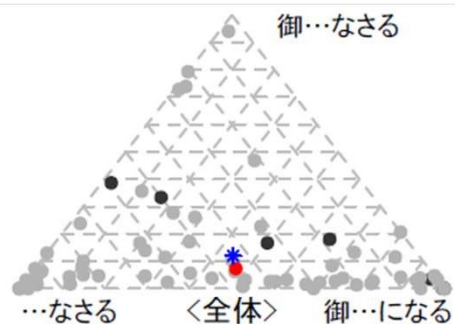
## 予測誤差

### 1. 個別動詞の影響

非命令文であるにもかかわらず、かつ、和語起源の動詞であるにもかかわらず、「…なさる」構文を強く指向するものがある。



Ranking: 48  
呼ぶ  
情報利得: 0



【1】: 御...なさる(命令文以外)

が、どんな色白の美男でもお呼び なさるがよい、たとへ

【1】: 御...なさる(命令文)

すぐハイヤーをお呼び なさい  
いくらでも暇人とお呼び なさい  
諸奉行様、甚右衛門の名をきみがテテと御呼び なされ候。

【2】: ...なさる(命令文以外)

【2】: ...なさる(命令文)

「パパではなく、お父さんと呼び なさい」とも言ってる  
ストネームはナーヴなので、ナーヴ船長と呼び なさい  
「おねえちゃんって呼び なさいってば」  
貴、圭祐くんのは『お兄ちゃん』って呼び なさいって言うので  
すぐに呼び なさい  
ちゃんと「ロングホーン」と呼び なさい！

【3】: 御...になる(命令文以外)

【3】: 御...になる(命令文)

机上には決裁箱や侍従をお呼び になる電話も置いてあ  
五時四十分、ブザーでお呼び になる。  
君はわたしのことを《趣味の審判者》とお呼び になる。  
委員会がお呼び になられた参考人の御  
い日に登るのも何かのご利益があり私もお呼び になつたんだと思うが  
母がお呼び になるまで山を下りま

全体(割合) 御...になる ...なさる 御...なさる

呼ぶ:	47.27 %	45.45 %	7.27 %
全体:	44.31 %	43.74 %	11.94 %

全体(頻度) 御...になる ...なさる 御...なさる

呼ぶ:	26	25	4
全体:	4770	4625	1060

命令文 御...になる ...なさる 御...なさる

呼ぶ:	0	25	3
全体:	1	4365	884

命令文以外 御...になる ...なさる 御...なさる

呼ぶ:	26	0	1
全体:	4769	260	176

# 2 データと記述統計的解釈

## 予測誤差

### 2. レジスター

BCCWJには、「Yahoo知恵袋」、「国会白書」など複数のレジスターがアノテーションされている。これらは変数選択に影響を与えるのか。与えたとしたら、どの程度の効果なのか？

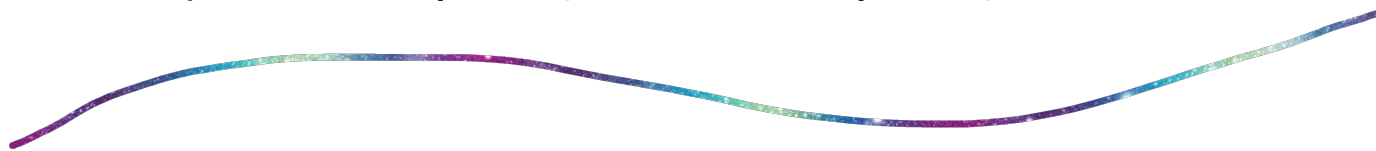


## 2 データと記述統計的解釈

### Take-home message

1. 正しく要因をコントロールしなければ誤った結論に至ってしまう。
2. 複数の要因（語種・CLAUSE TYPE）を同時に検討して結論を出す必要がある。  
⇒ 適切な統計モデルを作成し、比較・検討する必要性

# 3 推測統計：統計モデリング



# 3 推測統計：統計モデリング

## 考察対象の変数

(5) 考察対象の変数

- a. 予測変数 1  $x_1$  : Sentence Mood (非命令文 (= 0) / 命令文 (= 1)) (固定効果)
- b. 予測変数 2  $x_2$  : 和語動詞のモーラ数 (1 か (= 0)、2 以上か (= 1)) (固定効果)
- c. 予測変数 3  $u_k$  : レジスター (変量効果)
- d. 予測変数 4  $v_j$  : 和語動詞の語彙素 (変量効果)
- e. 応答変数  $y$  : 尊敬語構文 (「御…になる」 (= 0) / 「…なさる」 (= 1))

## 応答変数

本発表では、接辞「御」のありなしに関して考察を行う。

- (2) a. A先生は Bさんに 話された。
- b.? A先生は Bさんに 話しなされた。
- c. A先生は Bさんに お話しなされた。
- d. A先生は Bさんに お話しになった。

## 3 推測統計：統計モデリング

### Model 1 (Null model)

$$y_i \sim \text{Bern}(\pi); \text{logit}(\pi) = \beta_0$$

各観測値  $y_i \in \{0, 1\}$  がパラメータ  $\pi$  のベルヌーイ試行に従い  $\pi$  はどのような要因からも独立だと仮定する Null Model の AIC は 10,326.8、BIC は 10,333.7 である。

# 3 推測統計：統計モデリング

## Model 1 (Null model)

$$y_i \sim \text{Bern}(\pi); \text{logit}(\pi) = \beta_0$$

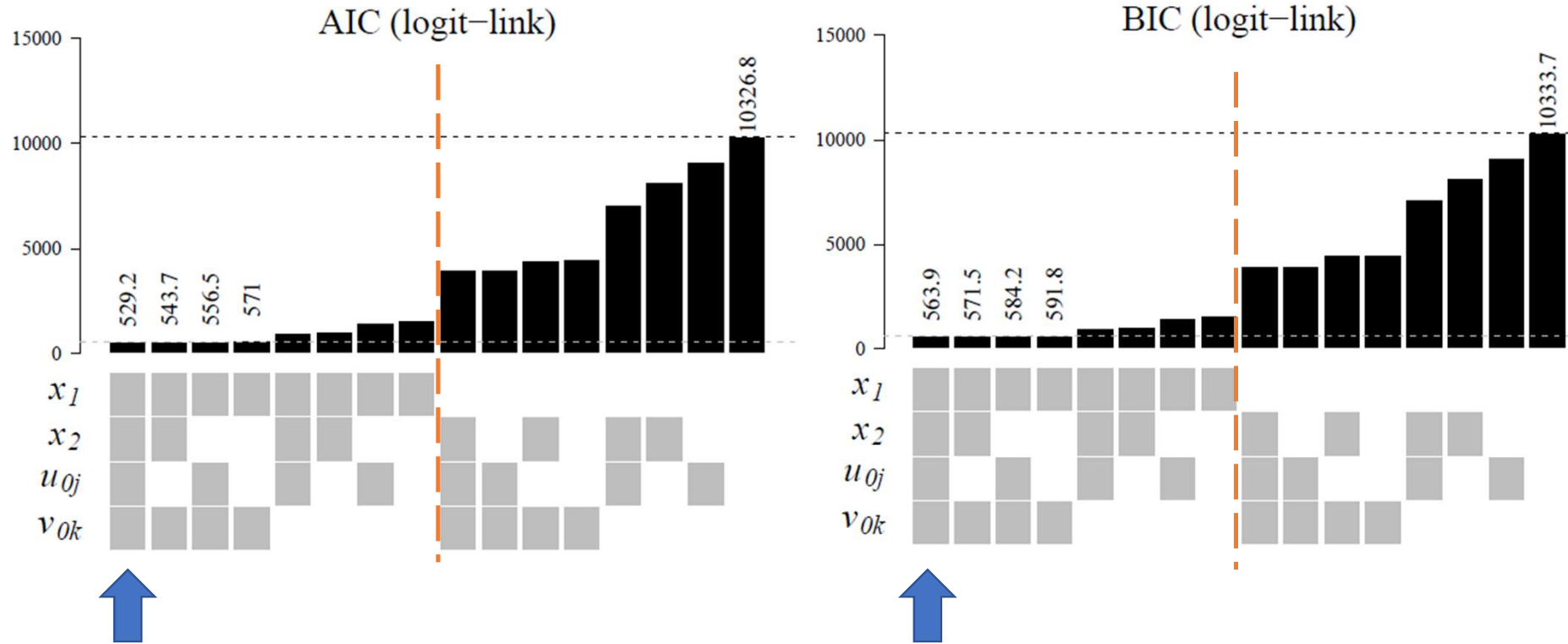
各観測値  $y_i \in \{0, 1\}$  がパラメータ  $\pi$  のベルヌーイ試行に従い  $\pi$  はどのような要因からも独立だと仮定する Null Model の AIC は 10,326.8、BIC は 10,333.7 である。

## 比較するモデル

(i) 各要因を含めるか否か、(ii) リンク関数に何を使うか（ここでは、logit, probit, cloglog の三つを検討した）によって、 $2 \times 4 \times 3 = 48$  通りのモデルが想定される

# 3 推測統計：統計モデリング

## 情報量基準



1. Logit linkがもっとも情報量基準が低かった。
2. いずれの情報量基準においても、すべての変数を投入したモデルが最良であると判断された。
3. 情報量基準の減り方から鑑みると、 $x_1$ (sentence mood)の影響力の強さがうかがい知れる。

# 3 推測統計：統計モデリング

## Model 2 (最良のモデル)

$$y_{ijk} \sim \text{Bern}(\pi_{ijk}); \text{logit}(\pi_{ijk}) = \beta_{0jk} + \beta_1 x_1 + \beta_2 x_2; \beta_{0jk} = \gamma_{00} + u_{0j} + v_{0k}; u_{0j} \sim N(0, \sigma^2); v_{0k} \sim N(0, \tau^2) \quad (\text{AIC: 529.2; BIC: 563.9})$$

固定効果	推定値	標準誤差	z-値	Pr(> z )	変量効果	分散	標準偏差
$\hat{\gamma}_{00}$ (Intercept)	3.247	1.664	1.951	0.051	$\hat{\sigma}^2$	1.538	1.240
$\hat{\beta}_1$ (imp)	12.870	1.362	9.446	3.54e-21	$\hat{\tau}^2$	8.589	2.931
$\hat{\beta}_2$ (mora)	-7.188	1.653	-4.349	1.37e-05			

表 1: 推定結果

## 解釈

(1) 第一に、**モーラ**、**命令文**は共に重要な予測変数だが、より高い効果量を持つものは後者であった。これは、 $x_1$ の投入が他の変数を複数入れることよりも情報量基準を下げるという図2の結果からも伺える

(2) 第二に、語彙素における**分散**は、**レジスター**における分散よりも大きい。

以下、変量効果の推定値が大きいものに注目し、モデルからは予測できない独自性を備えたものを考察する。

# 3 推測統計：統計モデリング

## 独自性 1 (個別動詞)

A. 「御...になる」指向の独自性を持つもの：符号が負であり、絶対値の大きな動詞は、動詞の独自の傾向として「御...になる」を強く指向する動詞と特徴づけられる。そのような動詞に「出でる」「見える」「話す」「使う」などが存在する。

慣習性		出る	-5.82	越す	-1.52	座る	-1.09	立つ	-0.25	作る	0.75	居る	1.76
① 「出でる」	古語性	持つ	-4.65	決める	-1.51	求める	-1.05	止す	-0.25	上がる	0.80	食べる	2.02
② 「見える」	suppletion	出でる	-3.08	止める	-1.44	休む	-0.86	有る	-0.14	見る	0.96	返る	2.40
③ 「話す」	「お話にならない」	見える	-2.62	答える	-1.44	任せる	-0.83	表わす	-0.13	飲む	0.97	置く	2.44
		話す	-2.09	受ける	-1.43	読む	-0.79	出す	0.10	掛ける	1.20	考える	2.60
		使う	-1.90	呼ぶ	-1.42	会う	-0.75	遣る	0.12	入れる	1.30	貰う	2.85
		尋ねる	-1.86	聞く	-1.41	捨てる	-0.74	寝る	0.14	為る	1.31	仕舞う	4.13
		知る	-1.79	示す	-1.32	述べる	-0.61	与える	0.15	入る	1.32	行く	4.76
		戻る	-1.74	亡くなる	-1.23	出掛ける	-0.59	待つ	0.19	成る	1.33	言う	4.90
		分かる	-1.58	買う	-1.18	話す	-0.48	忘れる	0.39	上げる	1.57	呉れる	4.95
		召す	-1.58	認める	-1.13	書く	-0.44	取る	0.60	来る	1.65	付ける	5.08

表 2: 各動詞のランダム切片の推定値



# 3 推測統計：統計モデリング

## 独自性 1 (個別動詞)

**B.** 「...なさる」指向の独自性を持つもの：正の符号を取り絶対値の大きい動詞には「呉れる」「仕舞う」「貰う」「置く」など補助動詞指向のもの、および「付ける」「言う」「行く」「考える」「返る」「食べる」などがある。

### ①補助動詞

内容語（名詞／動詞の連用形）につく用法から発達した接辞「御」が文法化が進んだ補助動詞には接合しにくい可能性。

### ②動詞「付ける」

「気を付ける」という表現で多用。「付ける」のみを尊敬語化した「気をお付けになる」という言い方が避けられるため「...なさる」への依存度が相対的に高くなっている可能性。

出る	-5.82	越す	-1.52	座る	-1.09	立つ	-0.25	作る	0.75	居る	1.76
持つ	-4.65	決める	-1.51	求める	-1.05	止す	-0.25	上がる	0.80	食べる	2.02
出でる	-3.08	止める	-1.44	休む	-0.86	有る	-0.14	見る	0.96	返る	2.40
見える	-2.62	答える	-1.44	任せる	-0.83	表わす	-0.13	飲む	0.97	置く	2.44
話す	-2.09	受ける	-1.43	読む	-0.79	出す	0.10	掛ける	1.20	考える	2.60
使う	-1.90	呼ぶ	-1.42	会う	-0.75	遣る	0.12	入れる	1.30	貰う	2.85
尋ねる	-1.86	聞く	-1.41	捨てる	-0.74	寝る	0.14	為る	1.31	仕舞う	4.13
知る	-1.79	示す	-1.32	述べる	-0.61	与える	0.15	入る	1.32	行く	4.76
戻る	-1.74	亡くなる	-1.23	出掛ける	-0.59	待つ	0.19	成る	1.33	言う	4.90
分かる	-1.58	買う	-1.18	話す	-0.48	忘れる	0.39	上げる	1.57	呉れる	4.95
召す	-1.58	認める	-1.13	書く	-0.44	取る	0.60	来る	1.65	付ける	5.08

表 2: 各動詞のランダム切片の推定値

# 3 推測統計：統計モデリング

## 独自性2（レジスター）

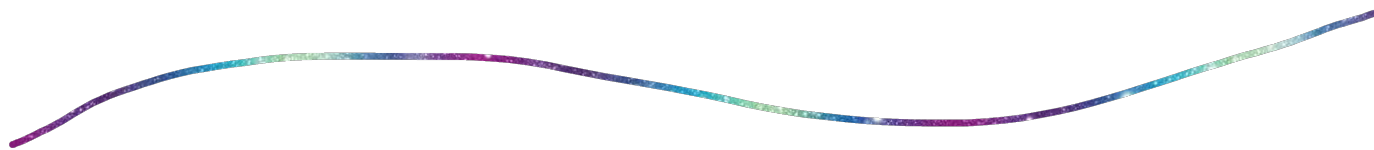
- ① 強い負の推定値：「国会議事録(-2.21)」
- ② 最も強い正の値：「新聞(1.27)」

その他は-0.43 から0.79 の間に落ち着いている。

①「国会議事録」には和語動詞が「…なさい構文」で192例、「御…になる」で774例存在するが、非命令文での頻度はそれぞれ0例、774例で、非命令形で「…なさい構文」が避けられていることがわかる。理由は今後の研究に委ねたいが、(1)b で見たように容認度が下がる文の使用はフォーマルな場で避けられている可能性がある。

②地の文で素材敬語が少ない「新聞」は、事例は総数で19例、内15例が「…なさる」（直接話法での使用が多く14例が命令形）と標本が少なく、偶然、値が強めに出た可能性がある

# 4 まとめと意味合い



# 4 まとめと意味合い

## まとめ

本稿は、一般化線形混合効果モデルを用い、確率的構文交替を分析する手法について指針を示した。

## 和語動詞の尊敬語構文選択

和語動詞では、①命令文、②モーラによって尊敬語構文選択が変わること、また、これらの要因が統制された後に残る個別動詞の独自性については「御…になる」において創発する慣習性と多くが結びついていることを指摘した。一方、レジスターにおける独自性については、方言／古めかしさという2.2節の観察の他、フォーマリティーが関係している可能性（3.3節）も示唆されたが、詳細な関係については、異なるコーパスの利用、実験、内省研究との統合によって今後研究されることが求められる。

## 今後の研究

- ・ ロジスティック回帰を越えた、多項ロジスティック回帰への拡張

ご清聴ありがとうございました！

